

委員	区分	質問・意見	事務局からの回答
市川委員		<p>新型コロナウイルス感染症治療の中核病院として多くの感染症患者を受け入れ、職員が一丸となって入院治療にあたって、札幌圏の地域医療に大きく貢献されました。</p> <p>この間の職員の皆様の献身的なご努力に対しまして、市民の一人として心より感謝いたします。本当にありがとうございました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症は、今後も予断を許さない極めて厳しい状況にありますので、引続き院内感染の防止と職員の健康管理にご配慮されて、コロナ感染患者の治療にご努力いただきたいと思っております。</p>	<p>ねぎらいのお言葉を頂戴いたしましたこと、心より感謝申し上げます。皆様のお声を励みにして、今後とも診療にあたってまいります。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の状況については今後も予断を許さないところではありますが、院内感染防止の徹底と職員の健康管理に配慮しながら、感染症指定医療機関として引き続き患者の治療にあたってまいります。</p>
金子委員		<p>新型コロナウイルス感染者の受け入れ、大変お疲れさまでした。</p>	<p>ねぎらいのお言葉を頂戴いたしましたこと、心より感謝申し上げます。皆様のお声を励みにして、今後とも診療にあたってまいります。</p>
河原委員	質問① (資料3)	<p>「令和2年2月以降、救急及び入院の受け入れを一部制限していたが、7月3日以降は通常どおりの診療体制となっている。」とあるが、外来患者の受け入れの制限はあまりなく診察を行えたのか。</p>	<p>救急外来は一部制限を行いましたが、その他の外来患者は概ね制限することなく診察を行いました。</p>
	質問② (資料3)	<p>新型コロナウイルスの感染を避け、外来利用数が一時的に減った時期はあったか。</p>	<p>2月以降、前年度と比べて外来患者数は減少しており、最も減少率が高かった5月では、約3割程度の減少となりました。</p>
	質問③ (資料2)	<p>外来患者数について、令和元年と同数を令和2年度で見込んでいるが、どうしてなのか疑問に思う。</p>	<p>予算案の策定時は新型コロナウイルス感染症の影響が生じておらず、また、1月までは外来患者が前年と同数程度で推移していたことから、令和元年度の決算見込みと同数として計上したのになります。</p>

委員	区分	質問・意見	事務局からの回答
菅原委員	質問① (資料2)	「令和2年度末の資金残0.3億円となる見込み」との記載があるが、令和3年度以降の資金状況について教えて欲しい。	中期経営計画では、令和2年度末に4.7億円の資金不足を見込んでおりましたが、予算では0.3億円の資金残を計上しており、約5億円改善しております。令和3年度以降の資金状況は改善傾向と見込んでおりますが、新型コロナウイルス感染症の影響等を注視しながら、資金の確保を図ってまいります。
	質問② (資料2)	平成29年度、27億円の借入時の計画・見通しと、令和2年度末までの計画との相違点、要因等について教えて欲しい。	平成29年度の借入時には、今後の返済計画を中期経営計画で定めることとし、それを受けて計画では令和3年度に2億円、令和5年度に3億円返済することとしています。
早坂委員	意見 (資料2)	<p>感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れ、治療に当たっている医師、看護師はじめ病院職員の皆様に感謝申し上げます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、今後も予断を許さない状況にある。また、医業経営に甚大な影響を与えると思われる。</p> <p>令和2年度については、四半期あるいは半期ごとの入院・外来患者数、手術件数等の状況を部会にご報告いただき、議論していくこととしてはいかがか。</p>	<p>ねぎらいのお言葉を頂戴いたしましたこと、心より感謝申し上げます。皆様のお声を励みにして、今後とも診療にあたってまいります。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、次回の病院部会において患者数等の状況の御報告を行えるよう、検討いたします。</p>
平本委員	質問① (資料3)	今般のCOVID-19拡大に際し、感染症病棟を有する最前線の病院としてきわめて大きな役割を果たされている。他方、COVID-19の影響により多くの病院で収入の減少と支出(費用)の増大が問題になっているとも聞いている。ここまでの経営状況と、今後の経営についての見通しに関してどうか。	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、入院患者、外来患者ともに大きく減少し、医業収益は激減しております。</p> <p>一方で、国の診療報酬上の特別措置や、緊急包括支援交付金では、新型コロナウイルス感染症患者の受入れに対し、手厚い支援が盛り込まれております。</p> <p>今後、交付金等の各種支援制度を活用して、経営への影響をできる限り軽減してまいりたいと考えております。</p>

委員	区分	質問・意見	事務局からの回答
	質問② (資料2)	2018年度に開催された「市立札幌病院の役割と経営健全化に関する専門家検討会」を受け、さまざまな取り組みが行われたものとする。2019 (R1) 年度では経常収支がマイナス1.7億円とのことだが、2020 (R2) 年度の見込ではプラス1.0億円と大きく改善が見込まれている。この間どのような取り組みが奏功して、こうした改善に繋がりそうであるか、主要なポイントをご教示願いたい。	中期経営計画では、高度急性期病院及び地域医療支援病院として地域の医療機関を支えることを当院の役割と整理し、救急患者や紹介患者を断らずに受け入れるための取組を進めてきました。また、ベッドコントロールを強化したことにより、病床の有効活用が可能となり、病床の利用率が向上しているところです。
	質問③ (資料2)	資金残の推移についてはやや不安な状況と考えられる。2020 (R2) 年度末の資金残が0.3億円と見込まれているが、2021 (R3) 年度以降の見通し及び考え方についてご教示願いたい。	中期経営計画では、令和2年度末に4.7億円の資金不足を見込んでおりましたが、予算では0.3億円の資金残を計上しており、約5億円改善しております。令和3年度以降の資金状況は改善傾向と見込んでおりますが、新型コロナウイルス感染症の影響等を注視しながら、資金の確保を図ってまいります。
舛田委員	質問 (資料3)	新型コロナウイルスの関係で、患者の病院離れが報道されているが、市立病院の経営への影響はいかがか。これまでの計画変更の要否も含め説明願いたい。	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、入院患者、外来患者ともに大きく減少し、医業収益は激減しております。</p> <p>一方で、国の診療報酬上の特別措置や、緊急包括支援交付金では、新型コロナウイルス感染症患者の受入れに対し、手厚い支援が盛り込まれております。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症の状況や国の支援の動向を注視しながら、中期経営計画の取扱いについて検討してまいります。</p>

委員	区分	質問・意見	事務局からの回答
水澤委員	質問① (資料3)	<p>新型コロナの最前線で患者の治療に尽力されている市立病院の医師や看護師など医療従事者の皆様に、一市民として心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。</p> <p>新型コロナの影響について、</p> <p>①医師・看護師など医療従事者に影響があったか。</p> <p>②医療用マスク等感染症防護用品の不足は無かったのか。</p> <p>③救急医療の受け入れや連携医院からの患者紹介に影響があったか。</p>	<p>ねぎらいのお言葉、ありがとうございます。皆様のお声を励みにして、今後とも診療にあたってまいります。</p> <p>①様々な診療科や病棟のスタッフが連携して新型コロナウイルスへの診療にあたるとともに、院内感染防止の観点から公私にわたる感染防止策の徹底をお願いしました。</p> <p>②全国的な感染拡大により、必要な医療材料の確保が難しい時期が続きましたが、防護具の節約や職員による代替品の制作に加えて、民間企業も含めた様々な機関から防護具等の御寄贈・御協力をいただいたことで、必要数を確保することができました。</p> <p>③2次・3次救急の受け入れの制限を行うとともに、感染拡大時には、連携医療機関からの紹介もお断りせざるを得ない状況もありました。</p>
	質問② (資料2)	<p>新型コロナの影響による令和2年度予算上の以下の数値と4月から6月までの実態値との乖離が出ているのではないかとと思われるが、次の予算値に対する実態値を教えて欲しい。</p> <p>①1日平均入院患者数 (予算値568人)</p> <p>②1日平均外来患者数 (予算値1,290人)</p> <p>③診療収益(予算値224.1億円)</p>	<p>①4月～6月の1日平均入院患者数：384人</p> <p>②4月～6月の1日平均外来患者数：991人</p> <p>③現時点では6月までの診療収益が未確定ですが、入院や外来の状況を踏まえると、予算との乖離が生じるものと考えております。新型コロナウイルス感染症による診療報酬改定の影響等も踏まえて、今後精査してまいります。</p>
	質問③ (資料2)	<p>新型コロナの影響により、令和2年度予算に大幅に狂いが生じているのではないかとと思われるので、下期の10月に向け令和2年度予算修正版を作成すべきと考えるが、令和2年度予算修正版の作成の考えはあるか。</p>	<p>これまでも、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、国の支援制度を活用し、医療機器購入等の補正予算を編成してきたところですが、今後についても、必要に応じて補正予算の編成等を検討してまいります。</p>

委員	区分	質問・意見	事務局からの回答
	質問④ (資料2)	<p>令和2年度末の資金残が0.3億円となる見込みとのことだが、</p> <p>①中期経営計画で想定した資金残と違っているのか、中期経営計画との整合は取れているのか、よくわからないので説明して欲しい。</p> <p>②再借入が必要になるのではないかと思われるが、資金対策としてどのようなことを検討しているのか、具体的資金対策を教えて欲しい。</p>	<p>①中期経営計画では、令和2年度末に4.7億円の資金不足を見込んでおりましたが、予算では0.3億円の資金残を計上しており、約5億円改善しております。</p> <p>②令和3年度以降資金状況は改善傾向と見込んでおりますが、国の診療報酬上の特別措置や緊急包括支援交付金など、新型コロナウイルス感染症患者の受入に係る各種支援制度を活用してまいりたいと考えております。</p>
	質問⑤ (資料2)	<p>平成29年度に借り入れた27億円の返済計画が新型コロナの影響で変更しなければならない状況になっているのか、説明して欲しい。変更するとしたら、どのような返済計画になるのか教えて欲しい。</p>	<p>国の緊急包括支援交付金などを活用し経営への影響をできる限り軽減したいと考えているため、現時点では返済計画の変更は予定していませんが、新型コロナウイルス感染症の状況や国の支援措置も踏まえて、変更が必要か検討してまいります。</p>
	質問⑥ (資料3)	<p>市立札幌病院が感染症対策に取り組んでいる姿は市民に安心感を与え、市立病院が必要という理解につながる。</p> <p>そのためにも、新型コロナへの今までの市立病院の対応内容及び今後の感染拡大を見越した対応内容の市民への広報活動が必要と思うが、今までどのような広報活動を行ってきたのか、今後これからどのような広報活動を予定しているのか教えて欲しい。</p>	<p>札幌市内で感染の拡大が確認されて以降、当院では感染対策に万全を期して診療体制を整えていること、更に、感染対策を一層強化するために3月23日から「全面的に面会を禁止」していることをホームページでお知らせしております。また、報道機関からの取材等を通じて、当院における診療体制や感染対策を適時お伝えしてきたところです。</p> <p>今後とも、ホームページや報道機関からの取材等様々な機会を通じて、当院の取組をお伝えしてまいります。</p>

委員	区分	質問・意見	事務局からの回答
	質問⑦ (その他)	<p>5月29日北海道新聞朝刊に「(2019年度)市立病院医療事故10年間で最多275件」と掲載されていた。中期経営計画で市立病院が「最後のとりで」として地域の医療機関を支える使命を掲げていても、重大な医療事故を起こしてしまえば、「最後のとりで」に不安をもたれる。そのようなにならないためにも、①信頼を取り戻す医療事故防止対策とその実践、②広報活動が必要と思う。この2つにどのように取り組んでいるのか教えて欲しい。</p>	<p>医療事故には、「患者に傷害を及ぼすことはなかったが、日常診療の現場でヒヤリとしたりハッとさせる経験」インシデントと、「患者に濃厚な治療を要したり障がいが残る」アクシデントがあります。</p> <p>当院ではアクシデント件数を減らすために、インシデントを含め、発生原因や再発防止策を検討し、検討結果は院内で情報共有しています。また、安全管理責任者等による院内の巡回を通してリスクの分析・評価等も行いながら、再発防止に取り組んでいます。</p> <p>インシデント・アクシデントについては、年に1回、件数とアクシデントの概要、再発防止に向けた取組をホームページ・マスコミに一括公表しています。</p>
渡辺委員	質問① (資料2)	<p>医療従事者の皆様、大変なコロナ禍の中、市民を支えてくださり、とても有難く、感謝申し上げます。皆様どうぞお身体に気を付けて頑張ってください。</p> <p>予算の概要について、支出のうち、医業費用の経費ほか、医業外費用、建設改良費の医療機器購入費等が、令和元年度と比較して大きく減少しているが、具体的な内容を教えて欲しい。</p>	<p>ねぎらいのお言葉を頂戴いたしましたこと、心より感謝申し上げます。皆様のお声を励みにして、今後とも診療にあたってまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医業費用「経費ほか」の減少 修繕費の減(外壁タイル等)、減価償却費の減(電子カルテシステム等)などによるものです。 ・医業外費用の減少 企業債支払利息の減等によるものです。 ・建設改良費「医療機器購入費等」の減少 <p>令和2年度は、医療用リニアック(放射線治療装置)の更新などを行います。令和元年度にはX線コンピュータ断層撮影装置や放射線部門システムの更新など、高額な医療機器の導入を令和2年度より多く行ったためです。</p>

委員	区分	質問・意見	事務局からの回答
	質問② (資料3)	新型コロナウイルス患者の対応状況について、①感染管理認定看護師数は何人か、②看護師数全体からみた割合はどれくらいか。	感染管理認定看護師は3名であり、看護師全体数からみた割合は0.3% (3人/806人) となります。
	意見	感染症患者受入れのなか、勤務状況を考慮し、それに見合う給与処遇をしていただきたい。	感染症の疾患に罹患した者の看護等業務に従事した場合に支給される「感染症予防等作業手当」について、新型コロナウイルス感染症に係る業務のうち、要件を満たすものに従事した職員に対し、従来の日額290円から月額3,000円又は4,000円の手当を特例的に支給することとしました。